

▼関西

観音様で開運 & 地ビールを快飲！

幸せの日帰りプチ旅行!!

高井 久雄(KTV)

酒好き、旅好きが集まる関西民放クラブの「酒好き・旅好きな同好会」、今回の旅先は歴史の町、大阪府の南河内(富田林と藤井寺)です。拝観が限られている貴重な国宝の観音様を、2カ所続けてお詣りしてご利益を授かり、大評判のクラフトビールも2カ所でそれぞれ味わおう、という贅沢な企画です。

昨年の12月18日、冬にしては暖かな陽気の中、会員19名が近鉄・富田林(とんだばやし)駅に集合しました。まず、450年の歴史を持つ富田林・寺内町(じないちよう)で、重要伝統的建造物群保存地区に指定されている風情ある街並みをそぞろ歩き、約400年前に建てられた重要文化財「旧杉山家」を見学しました。こちらは明治の歌人・石上露子の生家でもあります。

散歩のあとは、寺内町にあった地酒「万里の春」の酒蔵をリノベ

ーションし、ビール醸造所と自家製ビールを味わえるビアホールとして約1年前に復活した異空間「バンリノハル・ビアホール」で昼食です。10種類以上もある自家製クラフトビールから各自好みのものを選んで賞味し、特製パスタランチを頂き、食後は、ビール醸造設備の見学もさせていただきました。



バンリノハル・ビアホールで乾杯

再び富田林駅に戻ってから、近鉄電車で藤井寺駅に移動します。最初の観音様は「葛井寺」の国宝「十一面千手千眼観音菩薩」です。こちらの千手観音は725年に聖武天皇勅願によって建立され、文字通り「千の手」を持つのが特徴です(普通の千手観音は42手)。普段は秘仏ですが、縁日の毎月18日にのみ開帳されます。実は、

会員の林さん(左)と上村さん(右)の案内で、葛井寺(ふじいでら)の境内を散策。境内には多くの桜が咲き、春の訪れを感じさせる風景が広がっています。



ガイドの林さん(左)と上村さん

林さんお勧めの辛國(からくに)神社にも参拝し、藤井寺駅から再び電車で道明寺駅に向かいます。

次の観音様は、菅原道真公ゆかりの尼寺「道明寺」の国宝「十一面観世音菩薩」です。この観音様は菅原道真公が手ずから刻まれたと伝わり、こちらも秘仏で拝観できるのは毎月18日と25日だけです。会員一同、すべての衆生を救うという「葛井寺」と「道明寺」の観音様にお詣りして一年の無事を感謝し、来るべき年の安寧を祈願いたしました。

旅の最後は再びクラフトビール、お隣の道明寺天満宮の門前にある



葛井寺(ふじいでら)・門前にて

醸造所で作られた道明寺麦酒の「美陵ビール」です。こちらは地元産の季節の果物を使用したフルーツビールが有名で、日本地ビール協会主催「ジャパン・グレートビア・アワーズ」での受賞歴もあります。この日は門前のカフェで、無花果、ビールをいただき、道明寺名物のおはぎも賞味して、盛り沢山の日帰りプチ旅行を終えました。

全国の民放クラブでも、酒(食)や旅を楽しむ同好会が多数活動されていると思います。それらの同好会と共催で、地元ならではの美酒と旅情を案内しあう企画も楽しいのではと思っております。御協力・御賛同よろしくお願いいたします。